

採択拠点の拠点形成概要及び採択理由

【分野名：社会科学】

大 学 名	慶應義塾大学	整理番号	I - 2
拠点のプログラム名称	多文化多世代交差世界の政治社会秩序形成		
中核となる専攻等名	法学研究科政治学専攻		
事業推進担当者	(リダー) 小林 良彰 外31名		
<p>(拠点形成の概要)</p> <p>本プログラムでは、(1)市民の政治意識調査、政策形成者による選挙公報や政策文書などの内容分析、地域別補助金配分の分析などを通して、市民の政治意識が政策形成にどのように反映しているのかを明らかにするとともに、政治家や官僚の行動が市民の政治意識に与える影響についても実証的に解明する。(2)また、中国や韓国、南アジア、オセアニア、EU、ロシア、アフリカ、中南米諸国において同様の研究を行うことで、各国における市民と政策形成の間の連関を比較する。(3)さらに、各国における多文化間や多世代間で、上記の連関がどのように異なるのかを明らかにする。(4)そして、多文化多世代間の連関の相違が、多文化多世代間の対立に、どのようにつながるのかを分析する。(5)また、各国における教育やメディアを内容分析することで、政治的社会化が多文化多世代間の対立に与える影響について明らかにする。(6)国際的に流通する情報を内容分析することで、国家の枠組みを超えた市民社会のグローバルな繋がりが、各国内における変化に与える影響について明らかにする。(7)さらに、多言語型データ・アーカイヴを構築することで、日本を中心とする国際共同研究の発展を図ることにしたい。これらを通して、本プログラムでは、様々な文化や世代の担い手となる市民の意識をデータに基づいて分析する研究拠点を構築することにしたい。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>本プログラムは、政治意識の調査・研究を中心的に推進している拠点リーダーをはじめ、多文化世界を研究するための優れた地域研究者を擁しており、日本を中軸として多文化にまたがる市民意識についての世界水準の研究成果を生み出し、世界的研究教育拠点となることが期待される。</p>			